

# 平成 28 年度国立国会図書館職員採用試験合格者

## 合格体験記

この合格体験記は、平成 28 年度国立国会図書館職員採用試験合格者(平成 29 年 4 月採用予定者)に、自身の就職活動や今後の目標について書いてもらったものです。今後の当館職員採用試験の受験を検討される方の参考になれば幸いです。

**※記載した内容は全て、合格者個人の所感です。試験内容・試験対策等について、当館の公式の見解等を示すものではありません。**

<目次> ※年齢は平成 29 年 4 月 1 日時点

1.	24 歳女性 (総合職試験合格者)	1
2.	28 歳男性 (総合職試験合格者)	2
3.	22 歳女性 (総合職試験合格者)	4
4.	24 歳男性 (一般職試験合格者)	5
5.	22 歳女性 (一般職試験合格者)	7
6.	24 歳女性 (一般職試験合格者)	8
7.	22 歳女性 (一般職試験合格者)	10
8.	23 歳男性 (一般職試験合格者)	11
9.	23 歳女性 (一般職試験合格者)	12
10.	22 歳女性 (一般職試験合格者)	13
11.	22 歳男性 (一般職試験合格者)	14
12.	24 歳女性 (一般職試験合格者)	15

※本合格体験記の無断転載を禁止します。

※その他採用試験に関する情報は当館ホームページ「採用情報」をご覧ください。

URL : <http://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>

<編集・発行>

平成 29 年 2 月 国立国会図書館総務部人事課任用係

〒100-8924 東京都千代田区永田町 1-10-1

TEL : 03-3506-3315 (直通) E-mail : [saiyo@ndl.go.jp](mailto:saiyo@ndl.go.jp)

## 1. 24歳女性(総合職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

英語学英米文学専修に所属しており、その中でも英文学を専攻していました。ゼミのない専修ですが、英米の小説を原書で精読し、考察を発表し議論を重ねて英文レポートを書くといったゼミナール形式での授業が中心でした。修士論文ではヴァージニア・ウルフの『ダロウェイ夫人』について論じています。また、教職課程も履修し、教育現場以外でも役に立つ知識と経験が身についたように思います。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

学部生時代から家庭教師や塾講師のアルバイトに従事してきました。ただこちらから一方的に正答を示すのではなく、その生徒が自分自身の力でつまずきのポイントに気づき、正答にたどり着けるようにすることが大切だと感じました。そしてそのために、まずは生徒の思考に寄り添うことを常に心がけました。また、短期的な目標を設定し続けていくことで、それぞれの生徒の最終的な目標達成を目指しました。日々の学習の成果が具体的な結果となって現れたときの喜びはひとしおです。生徒の学習の後押しを通じて、私自身も多くのことを学び、また学ぶ楽しさを感じることができました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

上で述べた経験から、元々は教員を志望していました。他者の知的好奇心の追求を後押しできるような仕事に携わりたいと思ったからです。しかし、目の前の生徒の目の前にいる期間だけでなく、すべての国民のあらゆる時期における知の探求に携われるという点で、国立国会図書館により魅力を感じるようになりました。調査

業務を通じて、自分自身の知的探究心を満たしつつ国政に貢献できるという点にも惹かれました。児童書を通じた国際理解にも関心があり、国際子ども図書館で児童文学の翻訳に関する講演会に参加した際にも、国立国会図書館職員になりたいと改めて感じました。

### 4. 就職活動の方針

教員も依然として選択肢のひとつではありましたが、いくつかの自治体の求める教員像に共感でき、その教員採用試験を受験しました。教員採用試験は実施時期が比較的遅く、不安に思う時期もありましたが、志望理由を明確に述べられるところだけに絞るのが自分には向いていると思いました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

市販の問題集や概説書を用いて独力で対策をしました。二次試験の専門科目は文学を選択しました。HPに掲載されている過去問をもとに、自分の専門やそれに近い分野の主な文学作品について復習しました。文学の論述問題や三次試験の小論文に関しては、文章展開の流れを頭の中でイメージして臨みました。試験対策をするにあたり、自分の能力や性格の傾向などを客観的に把握しておく、戦略的に取り組みやすいのではないかと思います。私の場合、弱点を克服することを意識しつつも、どちらかというところを強化しようと思いがけました。説明会でお聞きした合格体験談も参考になりました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

三次試験が特に印象に残っています。集団討論は初めての経験で緊張もありましたが、同じグループの皆さんの能力の高さを目の当たりにして、皆さんと同僚として協力し、切磋琢磨しながら働きたいと思いました。採用試験を通し

て、魅力的な職員の方々や受験生の皆さんとお会いできたことで、国立国会図書館で働きたいという思いがますます強まったように思います。

## 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

入館後、まずはいただいた業務を一人前にこなせるようになることを当面の目標としたいです。国立国会図書館が機能するにあたり、司書・調査員・参事のどれもがそれぞれ重要な役割を果たしていて、どの業務でも国立国会図書館ならではの仕事ができるのではないかと思います。中でも、国内外の図書館との連携を図ったり、国立国会図書館で保存されている資料や情報の分類に携わったりして、国の機関や国民の皆さんが図書館サービスを利用するのによりよい環境を築いていけるような業務に関わってみたいのです。

## 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

採用試験は、自己の内面や能力と向き合い、自分の強みや課題点を客観的に見つめるよいきっかけだと思います。自分のなりたい姿をイメージして、その姿に向かって自己研鑽することは、これからの人生において何らかの形で役に立つのではないのでしょうか。過去の採用統計を見て、倍率に圧倒されて受験を迷っている人も少なくないのではないかと思います。私も受験前にはどうせ受からないんじゃないかと思うこともありましたが、それでも挑戦してみたからこそ、こうして合格することができました。国立国会図書館を受験される皆さんと職場でお会いできるのを心待ちにしています。

## 2. 28歳男性(総合職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

理系分野を専攻しており、細胞内のタンパク質の挙動を解析するためのプローブ開発及び特殊な蛍光顕微鏡による観察に取り組みました。

1 分子レベルの非常に微細な世界を垣間見ることができ、大変刺激的な経験ができました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

研究室に所属している期間で最も印象に残ったのが、大韓国内の研究室に3ヶ月間滞在したことです。最初は失敗が続きましたが、滞在先の学生に英語で相談を重ね、研究を進める上で必要な技術を習得することができました。現在はこの技術を同僚や後輩も活用しており、研究室の財産となっています。研究以外の面でも現地の学生と様々な交流をすることができ、大変有意義な経験になりました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

大学院に進学してから個人的な趣味として自らの先祖についての調査に取り組んでいました。国立国会図書館に先祖の名前や顔写真が記載されている文献があることを見つけて以来、関連する資料を調べることに夢中になりました。元々研究を進める過程で必要になる文献調査に熱心に取り組んでいたこともあり、調査業務やレファレンスサービスを通じた文献調査支援に関心があったので、志望いたしました。

### 4. 就職活動の方針

文献を用いて調査及び審査する職場や、専攻してきた化学の知識を用いて検査する職場を見つけて、公務員を中心に就職活動に取り組みました。博士課程まで進学していたため門戸が狭

いことも実感しましたが、説明会等に参加しながら自分自身が働いていることをイメージしやすい職場を探すことに努めました。

#### 5. 当館職員採用試験の試験対策

教養試験については、市販されている公務員試験対策問題集等を用いて典型的な出題形式に慣れることに努めました。専門試験では化学を選択したのですが、授業で用いた教科書類を見返して、重要な知識等を一通り確認しました。面接シートについては、大学の就職活動担当者に相談しながら完成させました。個別面接や集団討論は予め経験する機会を持つことで、話したいことを明瞭にするとともに過度の緊張を避けられると思います。

#### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

第3次試験の個人面接が非常に印象に残っています。重厚な部屋で実施されることに加えて大勢の面接官がいることに圧倒されそうになりましたが、いずれの方も親切にお話しして下さい、こちらが話したいことをしっかり伝えることができましたと思います。個別面接は一般的に緊張するものですが、国立国会図書館の場合は同時に職場の良い雰囲気を感じ取ることができ、ここで働いてみたいという意識を強めることにも繋がりました。

#### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

重要な職務の一つである調査業務だけではなく、文献調査を支援するレファレンスサービスや資料のデジタル化にも関心があります。個人的な調査のために探している資料が地方の図書館にのみ収蔵されていることに不便さを感じたこともあり、地方に収蔵されている重要な文献を収集することにも興味があります。様々

な職務を経験しながら成長していけるように努力を重ねていきたいと思います。

#### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

説明会に参加するだけでなく、実際に来館してサービスを利用してみることをおすすめします。職場の雰囲気をつかむだけでなく、自分自身がやりたいことを明瞭にするきっかけになると思います。採用試験の高い倍率を見て不安になるかもしれませんが、十分に対策を立てて取り組めば、それぞれにふさわしい道が開けると信じています。

### 3. 22歳女性(総合職試験合格者)

---

#### 1. 学生時代の専攻・研究について

教育社会学を専攻しています。社会調査の手法で研究を行うゼミに所属していて、学習支援を行っている非営利組織にアンケート調査をとったり、高校にインタビュー調査に行ったりして結果を分析しました。

#### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

まちづくりを行う非営利組織で活動していたことです。人と人をつなぐ場づくりになるような生涯学習の講座を企画・運営していました。地域の課題を考え、それをイベントという形で解決するにはどのような工夫ができるか、どのようなイベントがふさわしいのかと、団体のメンバーと頭を悩ませた経験が、今ではいい思い出になっています。

#### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

もともと、非営利組織で活動していた経験から、自分は公共性の高い立場で働くことにやりがいを感じていました。そこで、公務員として働くことを念頭に就職活動をしました。また、ゼミで社会調査をした経験から、調査を仕事にできる国立国会図書館を魅力に感じ、志望しました。

#### 4. 就職活動の方針

公共性が高い仕事につきたいと考えていたので、自治体や、民間企業のうち公共性が高い仕事を行っている会社を併願しました。

また、就職した後も学び続けたいと思っていたので、業務を通じて学び続けられる仕事や、学ぶことの好きな先輩がいる職場がいいなと思っていました。

#### 5. 当館職員採用試験の試験対策

公務員試験対策を行っている予備校を利用し、勉強しました。専門試験については、内容面で知識をつけることはもちろんですが、答案として書いたときにきちんと意味が伝わるように、論理的になるようにすることを意識しました。私は文章を冗長に書く癖があるので、自分で実際に答案を書いてみて、他の人に読んでもらうことをしました。

#### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

採用試験については、一次試験会場で受験者の人数の多さに圧倒されたことが印象に残っています。

就職活動は、期間が長くつらいと感じることもありましたが、社会の仕組みを垣間見ることができる点は面白いと感じました。自分自身と社会について真剣に考えるきっかけとして、貴重な経験をしたと思います。

#### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

様々な業務に携わって、まずは知識を身に付けたいです。そしていずれは、国立国会図書館を志望したきっかけである調査業務に携わりたいと思っています。

どんな仕事に対しても、謙虚に学びつづける姿勢を忘れずに頑張っていきたいです。

#### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

私は、就職活動中に一番緊張したのが国立国会図書館の3次面接でした。しかし、その時、「こんなにも緊張するのはそれだけ志望度が高い証なのだ」と思うことで落ち着くことができました。就職活動中は不安や緊張を避けて通るのが難しいと思います。しかしそれは自分がそれ

だけ真剣に一生懸命に取り組んでいる証なのだ、自信を持つことをおすすめしたいです。

## 4. 24歳男性(一般職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

学部・修士とも、農学系の統計学を主として扱う生物測定学研究室で、イネ科植物の出穂期(穂の出る時期)を予測する生育モデルの高速計算手法の開発と新規モデルの創出や予測性能検討をテーマに研究しておりました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

研究に関しては、幸い周囲の皆様のご協力もあって順調にテーマを進めることができ、修士二年の春に農学系の所属学会から優秀発表賞を頂戴したことが思い出深いです。研究以外に関しては、生物系・医療系画像解析を扱う大学発のベンチャー企業で研究開発を担当する機械学習エンジニアの有給インターンを続けており、自分が実装に深く関わった解析ソフトウェアを依頼主の企業に納入できたことが印象的でした。独学のみでは厳しかったので、趣味と演習を兼ねてプロコンやデータ分析のコンペに時々出ておりました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

日本最大の情報集積拠点であり、あらゆる学問領域・立場で研究を進める方々や、あらゆる党派の議員の方々が自らの目的を達成するための情報提供と、こうした方々の成果を後世に確実に残していくための資料保存に携わることができることに強く魅力を感じたためです。また幼時から文学作品をはじめ本が大好きだったので、法定納本図書館であるこちらに奉職することは中学生の頃からの将来の夢であり、学生時代に色々なことに挑戦して経験を積んだ上でいずれ絶対に入館すると心に決めていたということもあります。

#### 4. 就職活動の方針

国立国会図書館以外の併願先については、自分で新しい技術やサービスを生み出す職業を目指すか、この国の技術水準をより高いものにするべくサポートする職業を目指すか、という二軸を意識して検討しました。このため、民間に関しては上述のインターン先も含めソフトウェアエンジニア職や研究開発職を中心に見ておりました。公務員試験に関しては、工学区分で国家総合職試験を受験し、特許庁のみを官庁訪問しておりました。

#### 5. 当館職員採用試験の試験対策

比較的志望者の少ない理系の中で幾つかの分野に跨って研究実績や実務経験を積んでおけば面接でどれかに注目して頂けるだろう、という少し邪な考えもあり大学での活動自体も対策の一環でした。また、年齢基準を満たした大学三年次に一旦受験して二次までの筆記試験の対策をしたことで、今年度の対策の負担を軽減できた点は良かったのですが、今年もう少し勉強時間を確保できれば尚良かったとも思いました。

#### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

まず総合職の二次筆記試験会場です。工学・情報工学受験者が少なかったことに驚きました。また、二次の面接では過度の緊張でお話ししようと考えていた内容の大部分を忘れてしまい、発表日まで非常に悔いが残りましたが、大変有り難いことに一般職で残して頂くことができました。三次の面接では覚悟が決まったのかわかりませんが、お伝えしたいことを全て出し切った納得のいく受け答えができたように思います。就活全体では多くの尊敬できる職員・社員の方や魅力的な事業を知り、貴重な勉強になったと思います。

#### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

多くの業務分野に関わって職務への理解を深めたいと思っておりますが、特にオープンデータの利活用を促進するような電子系業務と、理系出身の背景を生かした立法調査業務に関心があります。情報通信技術や機械学習研究が高い水準に達し、データの活用が盛んに唱えられる現代こそ国会図書館の真価が発揮される時代であると捉えております。問題解決に対して意欲ある議員の方々、研究者の方々、一般の方々に対して、より目的に沿った情報を的確に提供できるよう、仕事を選ばず精力的に取り組んで参りたいです。

#### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

国立国会図書館への就職を将来の夢としているまだ十代の方々を特に意識してのアドバイスですが、先入観を持たずに楽しんで色々なことに触れてみて下さい。たとえ寄り道をした先でより自分に適した職業を見つけたとしても、培った幅広い知識・好奇心・視野はきっと今後の楽しみを増やしてくれることと思います。もしも大人になっても変わらずに同じ夢を目指し続けておられましたら、是非是非受験なさってください。一緒に働ける日を固く信じてお待ちしております。貴方が楽しい学生時代を過ごせるよう心から願っています。

## 5. 22歳女性(一般職試験合格者)

### 1. 学生時代の専攻・研究について

言語学のなかの語用論という、主にどうして会話が成立するのかを考える分野を学んでいます。卒業論文のテーマは、その理論の一つである関連性理論です。事例として取り上げた文学の解釈に理論を応用してみて、上手く解釈が説明できることや、逆に適用する途中でつきあたる齟齬を議論しています。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

短歌を実作し、批評しあうサークルに入っていました。歌を作り、他の人が歌をどう読んだか聞いたりしているうちに、言語や芸術一般に対する考え方が変わったように思います。文理融合型の学部にも所属していて、二回生くらいまでは数学や生物系を中心に学んでいたのですが、いろいろ迷った結果三回生の途中で言語学を専攻することに決めました。基本的に勉強は、やりはじめると長いけれどはじめたら楽しい、というような気持ちだったのですが、卒業が目の前になってから、もっといろいろ勉強しなくては、という思いがつのっています。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

初めて国立国会図書館のことを知った時、日本のすべての本があるということへの憧れはありましたが、本気で就職先として意識したのは、大学での説明会を聞いてからです。国立国会図書館は、「真理がわれらを自由にする」という理念のもと、国のすべての出版物を収集し、国会や国民へ知でもって貢献していく組織です。説明会の中で就職先として国立国会図書館を見たとき、この理念や職務は私がやりたいことと一致していると思い、採用試験を受けること

を決めました。

### 4. 就職活動の方針

主に学術研究(大学職員、教科書出版)やITシステム関係の会社など、理念に共感できたところを受験しました。社会に貢献できる仕事をしたい、という気持ちがあり、中でも学問や社会制度がよくなるのが社会全体の利益になるのではないかな、と考えて分野を選びました。また、何かに貢献するためには自分の生活も豊かでないといけないと思ったので、理念のほかには、福利厚生や、一生働ける職場であるかも重視しました。説明会はたくさん参加しましたが、一つ一つの志望先に時間をかけて準備をしようと思ったため選考を受ける企業は少しにしました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

高校までや大学での勉強が役立ちました。教養試験は、大学のキャリアサポートセンターで問題集を借りて解きました。専門試験は数学を選んだのですが、過去問がその分野の講義を受けた時の試験と同じような問題だったので、復習をしたり、大学院入試用の本などで勉強しました。英語はあまり時間が取れなかったのですが、そのときとっていた演習で輪読する文章をちゃんと準備したり、英語日本語対訳の本を読むようにしました。小論文(総合職も受験したため)は、過去問を実際に時間をはかって書いてみました。面接は企業の就職活動用の本も参考になります。これを質問されたらこんなことを答えよう、というのを事前に考えました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

他に受けた企業などに比べて、面接の時間があつたのか、ゆっくり話すことができました。答えたことについて、さらに質問をしてくださり、



より一人一人を理解しようとしている姿勢が感じられましたし、逆に今まで他の企業などの面接での受け答えだと不足があったのか、と発見することもありました。国立国会図書館についてもっと調べて考えておくべきだった、というのが一番の反省点です。就職活動全体を通しては、大学を休んでつぎつぎ予定に追われることが嫌だと思っていたのですが、振り返ってみると説明会や面接などを通じて見聞が広がって面白かったです。

## 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

NDL-OPACのシステムやデータベースに関心があります。大学図書館や一般にインターネットでもそうですが、資料や情報は豊富でも、知りたいことはどこにあるのか、何を知るべきなのかが分からないことがあります。また、国立国会図書館は東京と京都にしかないため、直接館へ行くことができない人も大勢います。このような問題意識がある一方、私自身は特別コンピュータシステム等に詳しくないので勉強していきたいです。また、さまざまな部署への異動があることをけっこう楽しみにしていて、自分の経験や考えられることの範囲を広げたいと思っています。

## 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

就職活動の方針も、採用試験の準備も、その人その人に最適なやり方があると思うので、私から言えることはありません。皆さんが悔いのないように物事を選び、ご自分の力を発揮してくださいと思います。

## 6. 24歳女性(一般職試験合格者)

### 1. 学生時代の専攻・研究について

近世から近代にかけての中国史を研究していました。当時の自然発生的なネットワークを中国に居住するムスリムを一例として論文の執筆をしました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

大学生になってからはじめたトランペットの練習です。オーケストラサークルに所属し、周囲が楽器経験者ばかりの中でレベルの高い演奏クオリティに到達すべく練習するのは大変でしたが、先輩や同期、後輩らに支えられてとても楽しく過ごすことができました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

卒業論文の際に、何度も国立国会図書館に足を運んだこと、また主な史料を国立国会図書館デジタルコレクションより入手できたことから国立国会図書館および情報へのアクセス・蓄積に興味を持つようになりました。説明会に参加をし、職員の方々の人柄が穏やかでありながら向上心や探究心を持っているという印象を受け、そのような仕事への取り組み方ができる職場で働きたいと思いました。

### 4. 就職活動の方針

学部のとくに国立国会図書館を志望した友人たちが公務員試験の対策をしていたため、何も考えずに予備校に通い公務員試験の対策をしていました。就職活動中、自分が仕事として何をやりたいのか突き詰めて出た答えは情報の蓄積・保存や文化的な事柄だったので方針としては沿っていたのであろうと思います。地方自治体や大学職員、出版社などを併願しました。

## 5. 当館職員採用試験の試験対策

一次試験に関しては公務員試験対策用の予備校に通っていたため、そこで習ったことを中心に勉強を進めていました。二次試験は史学(東洋史)で受験し、過去問を解いたり専門書を読んだりしました。二次試験でも面接でも自分の専攻で受験する場合、日頃から研究をしっかりとやっておくことが大事だと感じました。

ています。どうか気持ちのある方は恐れず挑戦して頂けたらと思います。心より応援しております。

## 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

面接の待ち時間で職員の方に国立国会図書館のお仕事について質問をしたところ、あたたかな対応にリラックスすることができました。面接までの案内をしてくださった方だけではなく、面接官の方々も楽しそうに話を聞いてくださって雰囲気の良いところだと改めて感じました。

## 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

興味の幅が広く、あれこれとやってみたいことばかりですが、蔵書構築や資料の電子化などアーカイブズに関すること、オンラインシステムの充実による検索の利便化、歴史学を活かせるような調査業務に強い関心を寄せています。どのお仕事においても自分の仕事がどの位置づけにあるのかを理解し効率化・改善を念頭におきながら取り組みたいと思います。

## 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

私は国立国会図書館で働きたいという思いはありながら、倍率の高さに受からないだろうと思っていました。同じように考え受験を悩む方もいるのではないのでしょうか。働きたいと思ったところに挑戦してみることはそれだけでも己を振り返る契機になり、糧になりうると考え

## 7. 22歳女性(一般職試験合格者)

### 1. 学生時代の専攻・研究について

法学部で政治学史を専攻していました。18世紀、19世紀のフランスの思想家について研究していました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

タイに交換留学をしていた時に、香港からの留学生とルームシェアをしていた時のことが印象に残っています。国籍や言語が異なる相手と暮らしていると、違いを実感することも多く戸惑うことも多かったのですが、それは同時に世界の広さや違いを理解するということを実感として得ることができた良い経験になったと思っています。

3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由  
専攻が政治学史だったので、原典の欠損したものによく出会っており、資料の保存の重要性について考えるようになっていたことは図書館への就職を考えるきっかけにはなりましたが、本格的に志望するようになったのは大学生協で主催していた国立国会図書館の業務研究セミナーに参加してからです。

### 4. 就職活動の方針

裁判所や県庁などの他の公務員も併願していました。いろいろな官公庁を知ることは、今後の良い経験になると考え出来るだけたくさん受験しました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

大学生協の公務員講座に通って、他の公務員試験の過去問を勉強していました。専門試験は法学で受験したので、他の試験の過去問を使って

答案の書き方に慣れるよう練習しました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

面接が和やかで気負わず話すことができ、とても楽しかったのが印象として残っています。就職活動を通じて、いままでのことを振り返ることができたので自分の人生を考える良い機会になったと思っています。

### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

国立国会図書館の業務の魅力の一つは様々な業務があることだと思っているので、いろいろな部署でできるだけ多くのことをやってみたいのです。どのような部署でどのような仕事をしている時でも、前向きに頑張りたいと思います。

### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

国立国会図書館を受験する時に、倍率は高い上に地方に住んでいたので東京は遠く、躊躇もあったのですが、やらずに後悔するよりはまじだと思い受験しました。地方に住んでいると受験は大変で不安も多いと思いますが、実際に受験に行ってみると地方から来ている方も多くて不安が和らぎました。ただ、私は何度も飛行機に乗るので疲れてしまい、最終面接の時に風邪を引いていてつらかったので、体調には気を付けて頑張ってもらえればと思います。

## 8. 23歳男性(一般職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

法学部で公法を専攻していました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

①法律の知識が活かせる、②好きな本に関われる、③真理がわれらを自由にするという理念に共感したためです。一度就職活動に失敗して、自分を振り返ってみた結果、これまでどうしても他人の意見を気にする部分があったので、まずやりたいことを明確にしてから就職先を考えるようにしました。

### 4. 就職活動の方針

①興味、関心があるかどうか、②仕事に重要性が感じられるか、③人の雰囲気が自分にあっているかどうかを重視しました。①、②両方がそろわないと、休日ばかり楽しみにして自分で奮起して仕事しそうもないと感じたためです。また長く働くうえでは③が重要だと考えました。官公庁を受けたほか、本に興味があったため出版社なども受けました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

前の年に国家公務員の勉強をしていたため、そのとき使っていた予備校のテキストを復習しました。法学部でもともと勉強していたことと、前年に勉強していたこともあって、2か月前から復習するくらいでしたが、前の年は何か月前から勉強していたので、しっかりやったほうがよいと思います。他には大学のキャリアセンターで面接の練習をしました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

採用面接は緊張して終わったあとおなかが痛くなりましたが、なごやかな雰囲気です。話をさせて記憶しています。素で話せたのがよかったのかと今では思います。

### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

どの部署に行ってもそれなりにやりたいことがある、というのが就職を決めた一つの理由なので、やってみたいことはたくさんありますが、特に法律の知識を活かして立法調査に携わりたいです。また資料の保存や司書関連の仕事にも興味があります。仕事は社会の多くの領域にまたがる可能性があると思うので、広くアンテナを張って、勉強を欠かすことなく頑張りたいです。

### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

就職活動が忙しくなるとなかなか自分を見つける機会がなくなると思います。私は形だけの自己分析はやりましたが、自分と向き合う機会をあまり持たず、一度目の就職活動は後悔することが多かったです。就職サイトやセミナーで職業のリストを提示されてから慌てて考えるのではなく、まず自分のやりたいことを明確にしてから職業を探せばうまくいくと思います。就職活動はつらいと思いますが、頑張ってください。

## 9. 23歳女性(一般職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

法学部に所属していました。専攻というものはありませんでしたが、社会保障法や公共政策の演習に参加し、前者では子育て支援や海外の医療制度について、後者では危機管理について発表しました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

サークル活動です。大学の吹奏楽団に所属し、週3～5日ほど練習に費やしていました。初めて人をまとめる立場に立ったので、メンバーのモチベーション維持などに頭を悩ませましたが、組織作りについて考えるよい機会となりました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

もともと本が好きだったので、図書館で働くことは夢の一つでした。また、大学では法律を学ぶとともに外国語にも興味を持つようになりました。国立国会図書館では本にかかわる仕事ができるのはもちろん、調査業務や資料の国際交換など自分の専門・興味を活かせる業務があるため、自分にぴったりだと感じ、志望しました。

### 4. 就職活動の方針

国家公務員、地方公務員を併願しました。就職活動では「どういうところで働きたいか」という観点で考えていました。併願はしましたが、受験をするうちに「学問にかかわる場所で仕事がしたい」という軸が見つかったため、国立国会図書館に合格できなかつたら来年も受験しようと考えていました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

独学でした。一般的な公務員試験の過去問題集をそろえ、大学の図書館で毎日ひたすら解いていました。昼休みには大学院入試を目指す友人たちと昼食をとってリフレッシュし、励まされていました。また勉強のペースメーカーにするため、予備校の模擬試験は3月から月に1回程度受験していました。面接対策は一次試験終了後から月2回程度、大学の就職課で模擬面接を受けていました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

こちらの面接試験は面接官の方がにこやかで、とにかく受験者の緊張を和らげてよいところを引き出そうとしてくださっていると感じました。言葉がうまくつながらなくなってしどろもどろになった場面もありましたが、面接官の方が優しく見守ってくださったので体勢を立て直すことができました。

### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

どの分野にも興味はありますが、資料の国際交換や業務交流、外国立法情報の調査など、日本と外国を本・データでつなぐような仕事をしてみたいです。また、いつ役立つかは分かりませんが、自主勉強として外国語学習は続けていきたいです。

### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

就職活動中は、今までの人生で一番悩みました。その分、いろいろな気付きも得られました。試験勉強ではつらいこともあると思いますが、いろんな人と話したり受験先を見学してみたりして、なんとか乗り越えてください。応援しています。

## 10. 22歳女性(一般職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

日本語・日本文学コースに所属し、日本語学を専攻していました。しかし、日本語以外の言語にも幅広く関心を持って学んでいたこともあり、卒業論文は外来語をテーマに執筆しました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

アメリカの大学に約1年間の交換留学に行ったことです。私は日本語学を専攻するからこそ、海外の視点や語学力も必要だと考えました。授業はディスカッションや課題が多く大変でしたが、人一倍努力して勉強しました。休暇中にはアメリカ国内外色々なところに旅行できたのも良い思い出です。また、留学のため活動期間は短かったのですが、日本では放送研究会やESSなどのサークル活動も頑張りました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

昔から本が好きで、文化に関わる仕事がしたいと思っていました。国立国会図書館は、高校生の時に大学案内のパンフレットに載っていたOG職員の方の記事を読んでから、志望先の一つとして考え始めました。また、留学を通して日本人としての自覚が強まり、国のために奉仕するという点でも国立国会図書館職員に魅力を感じるようになりました。

### 4. 就職活動の方針

研究が好きだったので基本的には大学院に進学するつもりでした。しかし、将来的に就職するなら公務員を考えていたので、今年は採用候補者名簿の有効期間が長いところと、進学よりも優先して就職したいと思えるところのみに絞って採用試験を受けました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

初学で法学受験だったので、公務員予備校を利用しました。教養も専門も択一式の過去問をとにかく繰り返し解きました。論文まで対策する時間はありませんでしたが、択一式の勉強で覚えた知識を生かして解きました。面接対策としては、国立国会図書館のHPや国立国会図書館月報を読んだり、大学のキャリアセンターで模擬面接を受けたりしました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

面接で国立国会図書館職員としての適性について深く聞かれたことが印象に残っています。自分の適性を上手くアピールすることができず、とても落ち込みました。すっかり不合格だと思い、他の志望先に決めかけていたので、合格を知った時は本当に驚きました。

### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

国立国会図書館には多岐に渡る業務があるので、様々な経験が積めることを楽しみに思っています。その中でも特に興味がある業務は、資料の国際交換と海外の法律の翻訳です。またもし機会が頂ければ海外留学や海外勤務にも挑戦したいです。

### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

私は前述の通り筆記も面接も明らかに準備不足で、国立国会図書館に合格する自信は全くありませんでした。そんな中でも、家族や先生、友人、人事の方の支えがあったからこそ頑張ることができたのだと思います。就職活動中は自分のことで精一杯になりがちですが、支えてくれる周りの人への感謝を忘れずにぜひ頑張ってください。

## 11. 22歳男性(一般職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

専攻といえるほど体系だった学問ではないのですが、近現代日本の文化史に関する研究室に所属していました。卒業論文では個人に対するインタビューを素材に、二次創作や同人誌即売会について論じました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

推理小説研究会で会長を務めていた際に、会誌を作ったことが印象的です。何を掲載するかの企画から始まり、認識のすり合わせや意見の統一に苦労しました。会員から送られてきた原稿を校正しつつ組版をするのは非常に根気の要る作業でしたが、印刷・製本された会誌を見たときは非常に感慨深いものがありました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

国立国会図書館の存在は以前から知っていましたが、就職先として意識しはじめたのは大学や館内で行われている業務説明会に参加した時です。職員の方々が穏やかに説明される姿を見て興味を抱きました。向上心のある方が多く、皆さん様々な勉強をしていらっしゃるということにも好感を抱きました。また、物理的な存在としての本が好きであったために、保存業務に携わりたいという思いもあります。

### 4. 就職活動の方針

公務員志望でしたので、様々な公務員試験を受験しました。最も重視していたのは、そこで自分が将来働いてやっていけると思えるかどうかです。職員の方々の人柄や職場の雰囲気、勤務地や業務内容などを総合して、自分に合うかどうかを考えていました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

自分が専門としている学問が存在しなかったため、専門試験でどの科目を選択するか悩みました。そこでウェブで公開されている過去問を一通り眺めて、自分に最適だと思った政治学を選択しました。そこからは予備校や市販の教材を使って政治学の大枠を覚え、大雑把に体系立ててノート一冊分くらいのテキストを自作してみました。専門試験は記述式なので、とにかく自分で書いてみることを重視しました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

国立国会図書館採用試験に限らず、就職活動全体を通して感じたのは、自分を見つめなおすいい機会だったということです。普段はぼんやりと考えているだけのことについても、面接で話すためにはしっかりとした言葉にしなければなりません。言語化するという作業は非常に苦勞を伴い、完璧など望むべくもありませんが、その分今できる精一杯のことを尽くすこととなります。そうした営みは、非常に趣深いものでした。

### 7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標

どの部署に配属されたとしても、それぞれの部署において必要な知識があるため、勉強するべきことは多いと思います。したがって、まずはいわゆる仕事の仕方を学んでいくことを頑張りたいと思っています。そんな中であえてやってみたい分野を挙げると、保存業務に興味があります。自分の仕事によって本が後世にまで保存されていくという仕事は大変魅力的です。

### 8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ

倍率を見て暗い気持ちになるかもしれませんが

が、案外なんとかなります。それよりも、自分は何をしたいのか、どうなりたいのか、今何ができるのかなどを考えて、自分に合ったところを探しましょう。そしてそこがいいと一旦決めたなら、迷わず努力しましょう。あと、面接については何を話せばいいのかと悩むかもしれませんが、一人で考えていてもどうにもならないこともありますので人の意見を聞くのもいいと思います。

## 12. 24歳女性(一般職試験合格者)

---

### 1. 学生時代の専攻・研究について

言語学で、五感を表す表現について研究しました。特に、日本語の視覚を表す色彩語と聴覚を表す音楽の表現について、フィールド調査やアンケート調査、デジタルデータを用いた調査をしていました。

### 2. 学生時代の思い出・頑張ったことなど

学生時代は応援部吹奏楽団の活動に熱中していました。広報やマーチングの指揮をしていて、面接シートには部活のことばかり書いてしまいました。

### 3. 国立国会図書館職員を志望した経緯・理由

昔から本が好きだったのと、社会に関わる仕事がしたいと思い、資料を調査することから社会を支えることができるというのを魅力的に感じました。

### 4. 就職活動の方針

他は民間企業でしたが、なるべく広く「社会の役に立つ」という点を意識していました。その上で、学生として培ってきた調査や計画の能力が生かせたら良いと思っていました。

### 5. 当館職員採用試験の試験対策

自分の専門分野の試験が専門試験の中になかったのと、法学を全く知らなかったので、公務員の問題集の他に入門書を買って読みました。

### 6. 当館の採用試験で印象に残っていること・就職活動を通しての感想

面接のシートに、ストレス発散の方法を尋ねる欄があったのが印象的でした。面接の際に、丁



寧に対応して下さい、安心して面接に臨めました。意外と面接の待合室の雰囲気良かったです。

**7. 国立国会図書館職員としてやってみたいこと・頑張りたいことなど今後の目標**

一般の人や子供にも資料の利用を進めていけるような、利用者サービス業務に携われたら嬉しいです。資料の活用を促進する仕事をしたいです。

**8. 国立国会図書館の受験を検討している方へのメッセージ**

面接が2回あるので、面接を重ねる間に自分の志望を見つめ直すことが出来ると思います。頑張ってください。